

令和 4年度

事務事業評価表 ( 令和 3年度 の実績評価)

記入年月日  
令和 4 年 4 月 10 日

事務事業名		市女性団体活動補助事業				事業区分		担当	
						新規/継続	継続	事務事業No.	020201000631
						単独/補助	単独	所属課	090601
政策体系	総合計画の施策名	0202 生涯学習・芸術文化活動の推進						課長名	生涯学習課
	政策名	02 生きがいを育む学びのまちづくり						グループ	生涯学習G
	施策名	02 生涯学習・芸術文化活動の推進						担当者名	
	手段名	01 ①自主的な活動の支援と学習機会の提供							
財務会計上の位置付け						事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計		
	01	10	05	01	02	00	社会教育総務事業		
法令根拠						桜川市女性団体補助金交付要項			
【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)									

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要 (事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
平成17年10月の合併に伴い旧町村でそれぞれ活動していた「岩瀬町女性会」「大和村女性の会」「真壁町地域女性団体連絡会」が廃止となり、平成18年4月より「桜川市地域女性会」を設立。平成26年度に「地域女性連絡会」も設立された。	5月下旬：補助金交付の手続き (交付申請受理後交付決定及び交付) また、実績報告の受理 4~5月：総会 (◎市長・課長) ◎各種行事 (市民祭、清掃活動、立哨活動) の関係機関との連絡調整 ◎研修会に伴う市バス使用申請及び同行

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移							
①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	02年度 (実績)	03年度 (実績)	04年度 (計画)	05年度 (目標)	06年度 (目標)
女性の地位向上のための研修 幹部会研修並びに継続者養成 情報交換 他団体との連絡提携 資料作成及び広報活動 目的を達成するために必要な事業	補助額	千円	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	女性会会員数	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	02年度 (実績)	03年度 (実績)	04年度 (計画)	05年度 (目標)	06年度 (目標)
市内女性	市内女性数 (常住人口: 3/1)	人	19,521.00	19,300.00	19,000.00	18,700.00	18,000.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	02年度 (実績)	03年度 (実績)	04年度 (計画)	05年度 (目標)	06年度 (目標)
各支部相互の連絡提携を図るとともに、各 単位団体の活動を推進し、地域社会の向上 発展に寄与する	活動件数 (総会資料受領後確認)	件	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移		02年度 (実績)	03年度 (実績)	04年度 (計画)	05年度 (目標)	06年度 (目標)	期間限定 総投入量
投入量	事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	
		県支出金	千円	0	0	0	
		地方債	千円	0	0	0	
		使用料・手数料	千円	0	0	0	
		その他	千円	0	0	0	
		一般財源	千円	0	0	230	
	事業費計 (A)	千円	0	0	230		
	正規職員従事人数	人	2.00人	2.00人	2.00人		

事業費の内訳	03年度事業費 実績 (千円)			04年度事業費 予算 (千円)		
				18 負担金補助及び交付金	230	
		合計	0			合計

事務事業名	市女性団体活動補助事業	事務事業No.	20201000631	所属課	生涯学習課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 平成27年度に桜川市で活動する女性団体活動を支援する目的で2つの団体に補助金を交付することとした。					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ 平成24年度の総会で活動方針の違いから地域女性会は分裂し、平成26年度より新しい女性団体が発足した。しかし、実際は2団体とも活動内容に大きな差異がないため、お互いの歩み寄りを図り、早期に再度統合し、1つの団体として活動するよう促す。また、補助金検討委員会からは現在の2つの団体が一本化できない場合は廃止するよう指摘されている。					

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

評価項目	
改革改善を行う	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ・市の行事やボランティア活動に積極的に参加していることは、生涯学習・芸術文化活動の推進に結び付く。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ・友愛の精神を養い女性自身の充実・発展のために必要である。
	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？) <input type="checkbox"/> 向上余地がない 2つの団体が一本化できない限り、成果向上は期待できない。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ・女性の教養、生活、地位向上のためには廃止、休止できないが、2つの団体が一本化できない場合は休止・廃止もやむを得ないと思われる。
有効性	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) 具体的な手段、事務事業名 <input type="checkbox"/> 余地がない ・現時点では2つの女性団体を統一することが最優先であるため、さらに他の事業との統廃合することは難しい。
	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？) <input type="checkbox"/> 削減余地がない ・自主活動であり、会の役員により成り立っている。
効率性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である ・市補助金のほか会員の会費によって賄われているため、公平である。
公平性	

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																						
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	2つの団体の一本化に向け、副市長を座長として各団体の代表者と財政課、生涯学習課を含め4回話し合いの場を設けたが、一本化することはできないという結論に至った。そのため、昨年度に引き続き今年度も補助金を交付せず、次年度以降も補助金の交付を見送り、当面の間、事業を休止することとなった。																						
②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																							
③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																							
④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																							
(3) 今後の事業の方向性 (複数回答可) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 廃止 <input checked="" type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																						
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 今後、新たな女性団体もしくはそれに準ずる団体から要望があった場合は、補助金の交付要綱等を含め、現在の社会教育団体としてふさわしい団体活動ができるよう全体的な見直しを実施する。		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		○	×																				
	低下		×	×																				
(6) 事務事業優先度評価結果		(7)																						

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価 課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> C A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合) 当面の間、事業を休止する。 確認欄 <input checked="" type="checkbox"/> 確認
---	--